

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

一般の部

令和六年四月度 入賞句一覧

投句数 七百三十一句

持選

大堀 武直 選

パトカーと敬礼交はす入学児

東京都新宿区 花澤 ちいこ

小学校の入学式に交通安全教育のために来ているのか、それとも街角で出合ったのか。パトカーに「入学児」が敬礼すると車内の警官も敬礼した。パトカーが好きな子供は多い。入学児の姿がありありと見えてくる。とても微笑ましい情景である。

黒部ダム水吐き出して山笑う

揖斐郡大野町 横山 道男

ダム放水は迫力満点。特に黒部ダムのようなスケールの大きなダムからの放水は、水量が多く轟音を立てて落ちる水しぶきもすごい。その情景に「山笑ふ」という季語を取り合わせてさらに景を広げている。動と静のバランスがよくとれている。

里に来て歌ひだしたる春の川

大垣市 小林 研

春になると山々の雪が解け出して、一気に川の水量が増える。陽光にきらめき、その生命感が活気を放つ「春の川」。それを「歌いだす」と擬人化して、里に春が来た喜びを表現している。里人も一緒に歌を歌っているであろう。

秀逸

追ひかけて追ひかけられてしやぼん玉

大垣市 高木 佐知子

蓬生や貨物列車の響き去る

大垣市 北島 暁子

稜線も丸みを帯びて山笑ふ

大垣市 高田 雅章

飴玉の色とりどりや春の風邪

静岡県浜松市 人見 亜紀

腰のぼし幼と競ふしやぼん玉

大垣市 宇佐美 昭子

焼け跡に長き黙禱余寒なほ

養老郡養老町 田中 紫香

雛の間に座敷わらしの膝小僧

大垣市 久保田 悟義

春塵に仏も眼こすりけり

東京都狛江市 椎野 一恵

指切りに時効のあるや卒業歌

東京都世田谷区 関戸 信治

千秋楽終へて楽屋の桜餅

三重県四日市市 藤田 勝民

入選

稚児の背の赤いへこ帯雛祭り

大垣市

櫻井 秋櫻

うららけしスーツ売場の親子連れ

本巢市

小泉 裕子

沈丁花風の道ある祖父の家

大垣市

遠藤 加容子

啓蟄や片足立ちの園児達

大垣市

傍島 隆

和紙の里水琴窟は春の音

大垣市

堀江 敏子

刀身にひかり集る花の城

三重県四日市市

いりやま 勝英

軒先の猫の細目も余寒かな

大垣市

坪井 克枝

掛け換えし軸に巻きぐせ鳥帰る

不破郡垂井町

竹嶋 富美子

渡し舟旗掲げて呼ぶ入学子

本巢市

土川 楽人

卒業子ハグする友の鼓動かな

岐阜市

伊藤 をさむ

春耕や洗ひざらしの紺がすり

大垣市

早筈 千恵子

総門に春を訪ねて美濃路かな

大垣市

美濃仙人

草餅や畑にまあるく人集ふ

養老郡養老町

松永 智志

春の海ただそれだけでここに居る

愛知県豊明市

希凜咲女

園児らの声が先行く春の空

本巢郡北方町

谷 弘行

選者吟

振りかぶる少年左腕春の風

武直



一般の部